

本件は、大阪府政記者会、大阪市政記者クラブ、吹田日刊記者クラブに同時資料提供を行います。

報道関係各位

生きているミュージアム NIFREL

# 生きものたちの「アスレチックの森」が新登場

## 生きものたちのシェアハウス『うごきにふれる』をリフォーム



「うごきにふれる」に登場する生きものたちの「アスレチックの森」(イメージ)

大阪府吹田市「EXPOCITY」の生きているミュージアム「NIFREL(ニフレル)」では、館内2階の「うごきにふれる」ゾーンをリフォームし、2020年1月24日(金)より、新たに生きものたちの「アスレチックの森」が登場します。天井から直径4mのドームやシャンデリア型のオブジェを吊り下げるほか、ツリーハウスやロープのはしご、ブランコや風車などを配置し、生きものたちが登ったりぶら下がったり、あるいはくつろいだりと、よりいきいきとした“うごき”をご覧ください。

「うごきにふれる」は、オリや柵のない空間で、生きものたちのダイナミックな動きをすぐ目の前で体感していただくゾーンです。ワオキツネザルやカピバラ、オウギバトやアナホリフクロウなど、15種約50点の生きものたちが、同じ空間で暮らすシェアハウスになっています。

今回のリフォームでは、全ての人を楽しめる植物の楽園作りを手掛けるガーデニングセンター the Farm UNIVERSALの空間デザインチームである「the Farm GARDEN」の協力を得て、ぬくもりのある天然素材にこだわった造形物で、生きものたちのいきいきとした姿をご覧くださいだけでなく、カラフルな色合いのガーランドや風車を追加し、つい写真を撮りたくなるアーティスティックな生きものたちの「アスレチックの森」を創造します。

【取材・撮影をご希望の方は下記までお問い合わせください】

NIFREL(ニフレル) PR・広報担当 田井、西前  
TEL: 06-6876-2204 FAX: 06-6876-2235 MAIL: nifrel.pr@nifrel.jp



## 《生きているミュージアム『NIFREL』施設概要》



名 称	NIFREL (ニフレル) (館長：小畑 洋)
運 営 会 社	株式会社海遊館 (本社：大阪市港区、社長：三輪 年)
所 在 地	吹田市千里万博公園 2-1 EXPOCITY 内ニフレル
営 業 時 間	10:00 ~ 20:00 (最終入館は 19:00)
休 館 日	年中無休。但し、年に 1 回設備点検のための臨時休業あり。
施 設 内 容	8つのゾーン【いろにふれる、わざにふれる、すがたにふれる、WONDER MOMENTS、かくれるにふれる、みずべにふれる、うごきにふれる、つながりにふれる (生きものの約 150 種・約 2000 点)】 ピクニックカフェ「EAT EAT EAT」(200 m <sup>2</sup> ・112 席)、ミュージアムショップ (NIFREL×NIFREL)
入 館 料 金	大人 (16 歳以上)・高校生 2,000 円、小・中学生 1,000 円、幼児 (3 歳以上) 600 円
交 通	大阪モノレール「万博記念公園駅」徒歩 2 分
駐 車 場	約 4,100 台 (EXPOCITY 全体用駐車場)
構 造 規 模	S 造 (一部 SRC 造、RC 造) 3 階建
建 築 面 積	約 3,500 m <sup>2</sup> (約 1,060 坪)
延 床 面 積	約 7,200 m <sup>2</sup> (約 2,180 坪)

※ 公式ホームページ	<a href="https://www.nifrel.jp">https://www.nifrel.jp</a>
※ ツイッター	<a href="https://twitter.com/nifrel_official">https://twitter.com/nifrel_official</a>
※ Facebook	<a href="https://www.facebook.com/nifrel.jp">https://www.facebook.com/nifrel.jp</a>
※ インスタグラム	<a href="https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL">https://www.instagram.com/NIFREL_OFFICIAL</a>

